

令和元年度 第6回総合診療専門医検討委員会（通算13回）

議事録

開催日時 令和元年9月13日（金）16時30分～18時00分

開催場所 TKP 東京駅日本橋カンファレンスセンター 302

出席者 委員長 羽鳥 裕

委員 有賀 徹 石松 伸一 井上 健一郎 金丸 吉昌 北村 聖
草場 鉄周 菅原 正弘 園田 幸生 野村 英樹 前野 哲博
山田 隆司

オブザーバー 松原 謙二

欠席者

委員 浅井 文和 今村 聡 清水 俊明 清水 貴子 竹村 洋典
田妻 進 南学 正臣 邊見 公雄 横山 彰仁 渡辺 毅

議 題

1. ワーキングからの 報告 2回分（野村委員）

(1) プログラム認定関連チーム報告と審議

A. 2019年度プログラム審査

- ・研修再開届けが提出された専攻医、連携施設の追加→委員会で承認された。
- ・救急科研修について（後述）

B. 2020年度プログラム審査

- ・昨年度、修正依頼への返信がなかった8プログラム以外は、整備基準に準拠した内容となったこと、今回は簡素化された申請となったため、プログラム審査委員への依頼は行わない。プログラム審査委員へのお詫びを兼ねた連絡はチームリーダーからメールで済み。
- ・審査を開始し、5プログラムが新規申請→チームで確認し、不備で差し戻し中
- ・変更申請は現在事務で確認中→ チームで確認後、WG、委員会で報告

(2) 内科研修関連チームの報告と審議

- ・総合診療専門医試験の内科学領域の部分は内科学会が担当するとのことのお返事。ただし、試験の全体像が見えないので、具体的な話しはまだである。

(3) 講習会関連チーム報告と審議

- ・特任指導医講習会の日程と講師について説明
- ・スライドは、変更点を確認してこれまでのものを使用

(4) 専攻医支援関連チーム報告と審議

A. 指導者マニュアル

- ・整備基準に準拠したものを、とのことで、プログラム整備基準に沿ったものを作成 →WG では異論なし。

B. 7つの資質能力に関する各団体へのお伺いについて

- ・システム運用が開始されるまでの研修手帳についての取り扱いは、理事会へ諮ることになった。

(5) 広報関連チーム報告と審議(川島)【資料4】【資料4-1】

- ・FAQについて、迅速に対応すべきものについては、委員長、班長の判断で回答を出す方向で検討する。

(6) カリキュラム制について (後述)

(7) 専門医試験関連チームについて

- ・現在、人選中。
- ・テキストについては、本委員会およびワーキングの委員で執筆を分担し、今年度末までに完成させることが決定された。

(8) その他

A. 総合診療専門研修関連 統合データベースシステム要件の提案(野村)

- ・資料に基づき、データベースシステム要件(案)について説明があった。

2. 最近の動き

(1) 専門研修部会

- ・シーリング：他の基本領域についてシーリングがかかっていることについて、各都道府県地域医療対策協議会から様々な意見が出されている。
- ・基本領域の今年度の専攻医募集は9月下旬から10月にかけてのいずれかの時期に開始される予定。
- ・カリキュラム制について総合診療、内科、小児科などで未提出であるとの指摘があった。

3. 協議

(1) 管理システム

- ・システム作成業者にデータベースシステム要件(案)を示し、対応可能かのヒアリングを行った。概ね対応可能との回答を得た。

4. カリキュラム制

- ・専門研修部会からの指摘を受け、制度設計を進めることになり、まずワーキングのプログラム認定チームで検討することになった。

5. 専攻医 費用負担について

- ・総合診療領域の運営管理費用（データベースや研修管理手帳などを含むシステムの構築および運用費用、J-OSLER 利用料などを含む）として、受益者負担の観点から、専攻医に一定の負担を求めることが本委員会です承された。具体的な金額は今後、検討されることになった。

6. 委員長メッセージ

- ・後日、あらためて委員の意見を伺うことになった。

7. 救急科3か月研修について(石松委員) 【当日資料1】

- ・救急専門医で使用している計算式で算出した結果を供覧。
- ・原則としてブロック研修を行う。整備指針に記載のあるカリキュラム制が適用される者のみを対象とすること、期間と経験すべき症例の両者を満たすこと、を要件にしてはどうかという意見が出された。
- ・プログラム統括責任者へ上記の要件を示し、要件を満たすことが可能との回答があった場合のみ認めるとすべきとの意見が出された。プログラム統括責任者へ問い合わせる文案を作成し、検討委員会で検討することになった。